

東日本・家族応援プロジェクト in 小くしま2019

参加費
無料



ご来場のみなさんには、
文庫版「木陰の物語2019」
を差し上げます！
(数量限定)

会場：福島市子どもの夢を育む施設こむこむ

福島市での開催は今年で9回目になりました！



団士郎 家族漫画展&漫画トーク

さりげない家族の日常や長く家族支援をしてきた経験からすくいあげられた誰かの小さな物語、それが漫画「木陰の物語」です。

私達は皆、「思い出」と名付けた記憶の束を抱えて生きています。一人一人の固有のちいさな物語です。

そのちいさな物語が大きく損なわれたり、失われたりするものが災害です。

絶望感や孤独が人を追い詰めます。起きてしまった災害をなかつたところに戻すことはできません。

そんな人々のいる場所に、しばしの時が過ぎてからでいい、目を向けられるようになったら見てもらいたいと思い、「団士郎家族漫画展」を開催しました。

漫画に描かれている誰かのちいさな物語に触れることで、こころの中にさまざまな物語が甦り、名も知らぬ人とのつながりを感じながら、また歩み出せる力を私たちは持っているのではないのでしょうか。

12月7日のトークでは、そんなお話をいたします。お時間が合えば是非お越しください。

11/20 (水) ~ 12/07 (土)

最終日は16時まで
@1階 にぎわい通り
どうぞゆっくりご覧ください。

12/07 (土)

14:00~15:30
@1階 にぎわい広場
講師：団士郎



団士郎家族漫画展

<漫画展参加者アンケートより>

- ・何となく、引き寄せられる漫画です。不思議！?
- ・毎年、「木陰の物語」の本は手にとり持ち帰り、じっくり読むことが数年続いていて今年も楽しみにしていました。



団士郎の漫画トーク

<漫画トーク参加者アンケートより>

- ・重いテーマを趣向を凝らして軽くお話する団先生のトークは素晴らしい!
- ・ものすごく見方、とらえ方に改めて自分をふりかえることが出来ました。問題が問題でなく問題解決方法が問題なのだ!



団士郎 (立命館大学大学院人間科学研究科訪問教授・家族療法家・漫画家)

公立の児童相談機関心理職25年を経て独立。「仕事場D・A・N」主宰。漫画家でもあり、マンガ集団「ぼむ」同人、WEB雑誌「対人援助マガジン」編集長。近年は上海、台湾、ニューヨークでも漫画展を開催。著書に『家族の練習問題』1~7(ホンブロック)ほか、『不登校の解法』(文春新書)、『家族力×相談力』(文春新書)など

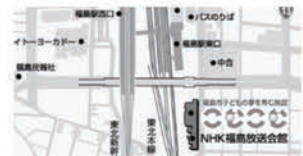
12/07 (土)

10:00~14:00
@1階 にぎわい広場
入退場自由
子どもの遊びコーナー



会場

福島市子どもの夢を育む施設
こむこむ
〒960-8044 福島市早稲町1-1
TEL:024-524-3131



「東日本・家族応援プロジェクト」の主旨

2011年3月11日に発生した東日本大震災を受け、社会への応答責任を果たすひとつの形として2011年プロジェクトとしてスタートし、2020年までの10年間、関西から東北4県(青森、岩手、宮城、福島)を巡り、現地の対人援助機関との協働によって対人援助学的実践をしながら、被災と復興の証人(witness)になることを目指しています。

主催：立命館大学大学院人間科学研究科 共催：特定非営利法人ピーズふくしま 協力：福島市子どもの夢を育む施設こむこむ
後援：福島県、福島市、福島県教育委員会、福島市教育委員会、福島大学つくしむくしま未来支援センター

詳しい内容はこちらから▶
立命館大学人間科学研究科震災プロジェクト 立命館大学大学院人間科学研究科HP
<http://www.ritsumei.ac.jp/gshs/info/detail/?id=27>

